



会員番号(No.48447):上山 由美子氏 撮影

コロナ禍臨時特集 第8回

社会福祉士とわたしp.6

- 年頭所感「新しい年、そして節目の年に」..... p.2
- 支部長に聞く!今年の支部の抱負 p.3
- 「世界ソーシャルワークデイ」の紹介 p.4
- 第35回社会福祉士国家試験合格を
応援しています! p.5
- 2022(令和4)年度 理事会報告 p.7
- 公開講座・研修情報 p.8



年頭所感



新しい年、そして節目の年に



会長 すみ こう ち 隅河内 司



2023年(令和5年)、新しい年になりました。神奈川県民の皆様と会員の皆様には、日頃より本会の事業にご理解とご支援をいただき、感謝いたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍の状況が3年半にも及び、私たちを取り巻く生活環境も感染症防止対策に合せ変化してきました。現在は、感染対策をしながらコロナと共存して生きることを模索している状況ではないでしょうか。昨年末のカタールでのサッカーワールドカップではマスク無しで応援する人々の映像や、日本国内でも密集した場での観戦で歓喜している人々の映像が流れました。この光景は、感染症が完全な収束には至らない中、個々に対策をしながら目に見えないウイルスとの共存した世界を生きることになった、それを象徴するような景色のようにも見えました。また、私たちの身近なところでも「3年ぶりの〇〇を開催」といった言葉とともに、さまざまなイベントが復活し、以前のように「人々が集う」機会が少しずつですが、増えてきました。今、あらためてその大切さを実感しています。

こうした状況の中、本会ではコロナ禍においても支援を必要とする人々に対し、その生活と権利を守ることを社会福祉士の使命と自覚し、感染症防止対策に合せ、オンラインなどの方法を駆使しながら活動を進めてきました。結果、多くの会員の協力もあって、コロナ前の活動と遜色なく各事業を展開することが出来ました。そして、新しい年、2023年には、本会は公益社団法人となって10年目を迎えます。

2013年に公益社団法人として発足した当時は会員2,475名、現在は昨年11月末で会員3,165名の組織となりました。公益社団法人となってからは、会の活動の基礎として代議員制を取り入れ、速やかな事業展開の体制を築くとともに、社会的状況に応じて、震災をはじめとする災害支援、生活困窮、司法福祉といった分野について行政からの委託事業を受託するなど、対外的にも責任のある「ソーシャルワークの専門職団体」として、地域社会の期待に応えられるように誠実に運営を行ってきました。また、会員の活動の拠点となる支部活動の活性化を図るとともに、県民の権利擁護を進める活動や会員の資質の向上に向けた事業を推進するほか、直近では、多文化ソーシャルワーク委員会や子ども家庭委員会を設置するなど、人権尊重を実現する社会づくりの視点から様々な取組みを進めてきました。

2023年は、こうした10年の活動を振り返るとともに、それを検証してさらなる活動へ結びつけることができるように、各支部・事業部委員会の企画による10周年記念の催しを実施する予定です。単なる記念イベントにならないように、私たちは専門職として何を実践し、どのような課題があるのか、これから先はどう進んでいくのか、を考える機会にしたいと思っています。早速、2月には、3年振りに、本会会員の「実践発表大会」を開催します。コロナ禍においても学びを止めることなく研鑽を積んだ仲間の活動を分かち合い、そこで得たものを各々の実践に活かすことをできれば幸いです。

コロナ禍を抜けて、少しずつ「人々が集う」ことを始めているこの新しい年に、本会は、公益社団法人設立10周年の意義を再確認し、新たな歩みを進めていきます。私たち社会福祉士が困難を抱える人々に寄り添って支援していく、そうした地道な取組みこそが、あるゆる人々が支え合う「共生社会」につながると確信しています。

今年も皆様方とともに、県民の福祉の向上に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年の支部の抱負

～今年の支部活動を漢字1文字で～



川崎支部

支部長 平山 みちる

安

新型コロナウイルス感染症が収束しないままの4年目を迎え、新しい日常がすでに生活の一部になってきました。また、月に人が住むことも近い将来となるこの時代に起きた、ロシアのウクライナへの武力侵攻は、世界中を巻き込み多くの人々を貧困と飢餓に苦しめ、命の危機をもたらしていることに心が痛みます。願うのは、「安心・安全・安定・安住・安眠・安堵・安寧」。その『安』のために、社会福祉士が行動していく一年になりますように。兎年に思いを寄せ、明るく飛躍の年を皆で創り重ねていきましょう。

横浜支部

支部長 江原 顕

共

新型コロナウイルス感染症は、私たちの健康や生命を脅かしただけでなく、地域社会に大きな悪影響をもたらしています。今、私たちは必死に順応しようともがいていますが、古い因習を見直し、新しい生き方を模索するチャンスでもあります。これからは、ウィズコロナという言葉があるように、脅威を排除するのではなく、受け入れつつ、いかに生きるかが求められます。そこで、改めて、地域共生社会に挑戦したいと思っています。社会福祉士として、共に未来にチャレンジしていきましょう。

県央支部

支部長 末永 都生夫

繋

新型コロナウイルスは、今後も変異を繰り返し、収束の見通しはつきません。私たちの活動も、オンラインでの会合が増え、リアルで対面する機会がめっきり減りました。今では、コロナと共存するだけでなく、新しい生活様式を実践し続ける必要があります。そこで、今年の県央支部の目標は、他職種との連携強化を掲げたいと思います。具体的には、医療職や法律家と社会福祉士の連携を強化し、一つのチームとして地域に働きかけていきます。

湘南東支部

支部長 小野田 潤

拡

支部活動もオンラインでの定例会、幹事会などから、感染状況を見ながら徐々にリアルでのコミュニケーションを再開していくこととなります。ここ、数年間の事務局運営推進の成果もあり、地域での活動も少しずつ歩み出している状況です。今年は発信力を強化して、未だ出会えていない支部会員の皆さんと取り組みを共有し協働することで、さらに地域での実践を「拡げて」いきたいと思っています。

西湘支部

支部長 重本 晴賀

樹

昨年は会員相互の情報共有ツールの一つである支部会報紙「ブナの樹」が復活し、西湘地域で活躍する社会福祉士の仲間がバトンを繋ぎできました。また、10周年の今年は地に根を張る樹木のように地道な支部活動を積み重ねつつ、新たな活動に挑戦する発展の年となります。西湘支部では社会福祉士の育成を基盤として、制度や施策の「狭間」に焦点を充て、誰ももれなく光が当たるような活動を目標に取り組みたいと思います。今年も一緒に楽しみましょう!

湘南西支部

支部長 和田 貴子

築

コロナ禍の生活が続く中で、ITが生活の中に浸透しました。直接対面をしなくても会議や研修、面会もオンラインで顔を見て話す事も日常になりました。昨年は支部の審査会委員の選任方法を変更し、支部会員の顔の見える関係を基本としました。支部定例会でも、会員間の情報交換を行い、多職種との連携を進めてきました。今年は、さらに、支部会員の参加と他支部の社会福祉士との連携を構築したいと思っています。

相模原支部

支部長 小野澤 和美

進

会員一人一人の思いを形にしていく活動を進めていくことを活動の根っこにしたいと思います。社会福祉士が活動する様々なフィールドでは、多くの課題が山積みになっています。それらに向き合い、市民の方々と連帯して共生社会を実現していくための歩みを進める一年にできればいいなと、考えています。私たちができることを可視化し、進む道を共有する年を目指します。

横須賀・三浦支部

支部長 吉田 勝利

斜

私たちが、支援を行っていく時に正面からとらえようとするあまりに問題がみえなくなったり、応えにわからなくなってしまうことが多くあります。そのようなときにほんの少し斜めに構え、見聞きすると問題がみえてき、そして応えがわかっていきます。2023年度斜めに構える勇気をもって利用者個々、地域にちかづき・つながる方法を模索しながらまじわり、支援を必要としているひと、地域のNEEDSをうけとめ問題解決へむかっていくことができるように活動を行っていきたくと思っています。

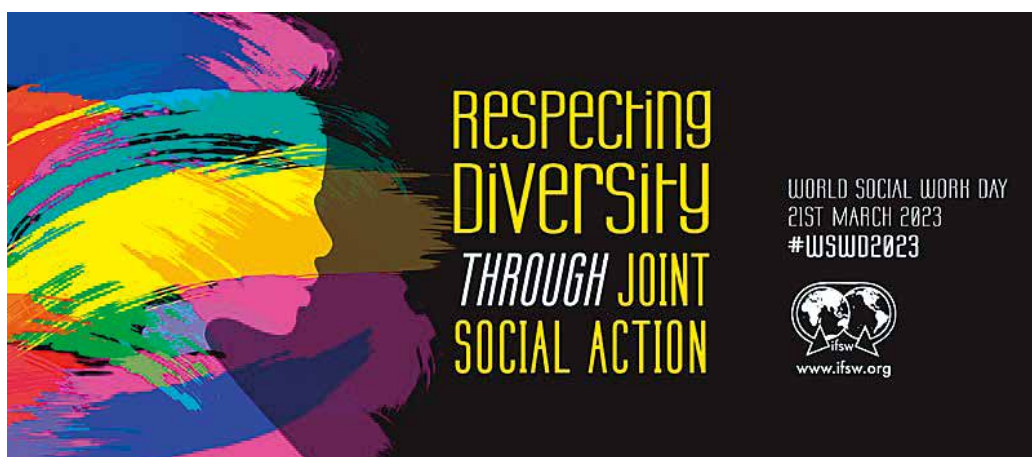
「世界ソーシャルワークデー」の紹介

多文化ソーシャルワーク委員会 委員長 平田 美智子

毎年、3月第3火曜日を「世界ソーシャルワークデー」と定め、社会正義と人権を守るソーシャルワークについて知ってもらおうと、全世界でソーシャルワーカーが様々な活動を繰り広げています。

国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)は、2008年のブラジル総会でこの日を設定しましたが、各国の事情に配慮し、宗教上も特段予定はなく、家族優先の週末を避け、平日の設定にするという考え方です。

各国のソーシャルワーカーは、世界ソーシャルワークデーの前後に、国内外でセミナー、街頭行進、マラソン大会等のイベントを企画し、一般の人々にソーシャルワークを広報する活動を展開してきました。その模様は、IFSWのホームページに紹介されています。さらに、IFSWは2010年の香港大会で、ソーシャルワークと社会開発のための「グローバルアジェンダ」を設定し、世界ソーシャルワークデーのテーマの一つずつ取り上げることにしました。2023年度のテーマは「ソーシャルアクションによる多様性の尊重」で、テーマは70か国の言語に翻訳されます。



毎年3月第3火曜日は、世界ソーシャルワークデーです！
2023年度のテーマは「ソーシャルアクションによる多様性の尊重」です。

日本国内での世界ソーシャルワークデーの取り組みですが、2009年から日本独自に7月の海の日を「ソーシャルワーカーデー」として、全国・各県で社会福祉専門職団体がセミナー、街頭での市民相談などを開催してきました。3月を避けたのは、年度末でどこの職場も大学も忙しいから、というのが主な理由でした。10年経った2019年、ようやく一部3月に世界のソーシャルワーカーと共に記念行事を行うようになりましたが、まだ全国的な展開には至っていません。

さて、2023年3月の世界ソーシャルワークデー記念イベントですが、日本ソーシャルワーカー連盟(JFSW)主催のシンポジウムが3月12日(日)オンライン・通訳付きで、「ウクライナ避難民・難民に対するソーシャルワーク」と題して開催予定ですので、ホームページ等でご確認下さい。

神奈川県では、神奈川県社会福祉士会川崎支部が情報交換会を当日に開催して、会員間で世界のソーシャルワークや多文化ソーシャルワークについて意見交換をしてきました。

本年度は、本委員会が当日3月21日(火)にオンライン交流会を開催予定です。

皆さん、是非お申し込みいただき、世界ソーシャルワークデーを盛り上げていきましょう。



第35回 社会福祉士国家試験合格



を応援しています!

----- はじめに -----

資格取得支援委員会では、国家資格取得を目指し、平成5年から本会主催の受験対策講座を毎年実施しています。会員の皆様のお近くで、令和5年2月5日(日)実施の「第35回社会福祉士国家試験」を受験される方がおりましたら、直前準備と試験当日の心構えについてまとめてみましたので、ご参考ください。

委員一同、多くの方の国家資格取得を願っています。

直前準備 ~当日あせらないために。備えあれば憂いなし~

- 交通機関の再チェック (例え雪が降ってもあせらないために) 前泊も考慮してみる
・当日の会場入室時間は再確認。
- 持ち物チェック
・受験票 ・鉛筆HB ・消しゴム ・昼食 ・鉛筆削り ・腕時計(計算機能のないもの)
- 快適チェック
・座布団(会場によっては椅子が硬い)
・寒さ暑さ対策(座る位置で寒暖の差『階段教室の罨』)
- 健康チェック
・体調を整える。日頃の習慣を崩さない。



※携帯電話は試験会場内では使用禁止です(取扱いに気を付けましょう)

当日の心構え

- ・今までやってきた自分に自信をもつ!!
- ・マークシートで失敗しない
- ・しっかりと問題に対応する箇所に転記されているか確認。
- ・余計なことはマークシートに書かない。
- ・とにかくマークをつける。あきらめない!
- ・わからない問題にあまり労力を注がない。できたはずの問題が解答できなくなる。
- ・迷ったときは直感!見直して書き換えるときは、必ず確信をもつ。ほとんどが逆に不正解になってしまう。



人事を尽くして天命を待つ。頑張った自分に拍手

社会福祉士とわたし



横浜支部 藤原幸就さん

地域デビュー、最近よく耳にします。未知の世界への扉を開ける期待と少し不安の入り交じった言葉ですね。

私が地域の活動に参加するようになったきっかけは、行政で高齢、障害等福祉の現場で、30年余り従事した後、早めに退職し地元の団地に戻り、地域に目を向けた時に、顔見知りもない事を実感しました。そんな時に同じ階に住む高齢の女性から、自治会主催の駅前清掃の行事を紹介されて参加。それが縁で、少しずつ顔見知りが出来て来ました。そんな時に東日本震災がありました。いともたつてもいられず医療介護のボランティアにチームの一員として参加しました。

避難所の体育館で24時間泊まり込み、避難民の方に寄り添いました。その際チームの存在が常に皆さんの目に触れるようにとチームの拠点は避難所入口に囲いもなく設置されており、当初皆さんの視線に絶えずさらされる事からストレスを感じましたが、やがてそれは皆さんに逆に見まもられているという心地よい安心感に変わっていったことを覚えています。

この経験を生かせればと、横浜に帰った後消防団に入りました。

来年、団の定年で、退団する事になりますが、この間の経験が地域の防災を考える上で、貴重な経験になりました。併せて民生委員になったのも大きな収穫でした。

きっかけは自治会長からの依頼で、少しでも自分のこれまでの経験が生かせたらと引き受けました。

民生委員の主な役割である一人暮らしの高齢者の方の見守り活動の中でお話を聞いていると多くの事を学びました。転入後知り合いもなく寂しいとおっしゃる方に介護サービスを紹介した所、大丈夫との事。包括の方と再度改めてお邪魔してお話をお聞きする中で、その方の人との繋がりが生活史から、大丈夫と答えられた背景がわかりました。自分の過去の経験に照らした見立てが常に目の前の対象者が支援を必要としているという判断に繋がっていた。むしろその方のストレスをどのように捉えていたのかと考えさせられました。その後その方との訪問の中で、自分との話を楽しみにされている事がわかり、自分の役割を改めて認識しました。同じ頃老人クラブからお手伝いの依頼があり、会員として参加しています。

その中で90近い高齢の方と音楽のデコボコバンドを組み誕生会で披露していますが、拙い演奏にもかかわらず、一緒に口ずさみ、皆さんの表情が和んでいるのを見ると、少しでも貢献出来ているのかなと感じています。私が怪我で入院し催し物を休み、自宅を留守にしていた時には、民生委員の見守りの人だけでなく、近所の人や老人クラブの方から、心配していたと聞き、自分が見守りをしていただけでなく、自分が地域の中で見まもられていたという事実に関心、地域で生活すると事は、見守りという行為は一方的に見守るという関係ではなく、見守り、見守られるという相互関係にあると思いました。地域で民生委員等の活動をしていると、顔見知りが出来たり、趣味の活動に参加していると、自分が地域の中で少しでも役立っているのかなと感じます。

コロナ禍の中で人との関係が薄くなりつつある現在地域の中で、一人一人がささやかでも役割を果たせるような地域になればと思っています。

〈2022(令和4)年度 理事会報告〉



■第4回通常理事会 2022年10月11日(火) 19:30~21:13

議長:隅河内会長 議事録署名:出席全理事・監事 出席理事:17名 監事:別府・東海林 事務局:2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1:入退会審査(9月分)…入退会審査→9月入会6、転入2、転出2、退会2、9月末会員数3,156名、県内登録者数19,826名、組織率15.92%。キャンペーン(30歳以下入会金免除)の対象者は2名。 **議案2:ばあとなあ神奈川後見人等候補者推薦、法人後見状況**…名簿登録に係る異動状況、9月1日登録者数670名、その内、家裁名簿登載者数は568名。後見人等候補者推薦10月1日現在の状況、9月推薦依頼32件、推薦済4件、調整中28件、不受理0件・取下げ0件。法人後見12件。 **議案3:規則改正**…細則6号職員の育児休業に関する細則改正案検討。

協議事項〈全了承〉 ①支部役員連絡会の議事内容確認…2023年度事業計画予算と支部会計説明、意見交換予定。2023年度の事業計画の中で、10周年に向けての取り組みも考える。 ②事業部委員会連絡会の開催…事業部委員会連絡会開催の内容や開催時期を検討。2月頃に開催予定。 ③2023年度本会事業計画予算案作成…事業計画予算編成の今後のスケジュールの確認。 ④ウェブサイトのリニューアルの進め方…ウェブサイトのリニューアル担当理事検討、副会長担当は山崎副会長、理事、谷川理事、深澤理事、岡本理事に願います。リニューアルスケジュールと2023年3月までの流れ確認。

報告事項 ①会計執行状況(9月分) ②各受託事業の進捗報告(8月・9月) ③推薦後援状況:日本社会福祉士会三十年史編集委員推薦ほか、神奈川県社会福祉協議会からの依頼による多文化高齢社会ネットかながわほか4件の後援。 ④執行理事活動報告(正副会長動向前回理事会以降10月10日迄) ⑤業務監督委員会(9月29日開催) ⑥第3回通常理事会(9月13日開催)議事録 ⑦子ども家庭支援委員会・生活困窮者支援ネットワーク委員会合同企画研修…12月3日「ヤングケアラーを知る」上記2つの委員会での合同企画で研修会を開催。

■臨時理事会 2022年11月15日(火) 19:30~20:45

議長:隅河内会長 議事録署名:出席全理事・監事 出席理事:16名 監事:別府・東海林 事務局:2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1:入退会審査(10月分)…入退会審査→10月入会7、転入2、転出1、退会3、10月末会員数3,161名、県内登録者数19,844名、組織率15.93%。キャンペーン(30歳以下入会金免除)対象者1名。 **議案2:ばあとなあ神奈川後見人等候補者推薦、法人後見状況**…名簿登録に係る異動状況は10月31日現在登録者数669名。後見人等候補者推薦の11月1日現在の状況、9月推薦依頼44件、推薦済10件、調整中34件、不受理0件・取下げ0件。9月推薦依頼1件が不受理。法人後見12件。 **議案3:2022年度各受託事業受託に関する本会の考え方**…次年度委託があった場合は継続受託を確認。

協議事項〈全了承〉 ①2023年度神奈川県社会福祉士会事業計画・予算編成…10周年の事業計画等の位置づけについて確認。

報告事項 ①基準5号 ハラスメントの防止改正 基準改定報告 ②会計執行状況(10月分) ③各事業部委員会2か月報告(8月・9月)各受託事業の進捗状況を確認。期限内の提出を改めて依頼。 ④各支部活動報告(8月・9月)各支部活動の状況を確認。 ⑤推薦後援状況について…秦野市介護認定審査会委員、藤沢市社会福祉協議会成年後見制度出張無料相談会担当者、川崎市社会福祉協議会市民後見人養成研修フォローアップ研修講師について、本会から推薦。 ⑥執行理事活動報告(正副会長動向前回理事会以降10月10日迄) ⑦第4回通常理事会(10月11日開催)議事録



公開講座 & 研修会

お申込み・
お問合せは

電話: 045-317-2045

FAX: 045-317-2046 e-mail: web@kacsw.or.jp
公益社団法人神奈川県社会福祉士会 事務局 までお願いします。

月	日	開始時間	終了時間	研修名	概要	場所	主催	対象	費用
2	4	19:00	20:30	「養子縁組制度による相談支援の実際」～事例を通して現状を学ぼう～	講師:小川多鶴氏 (NPO法人アクロスジャパン) 代表理事	オンライン (Zoomウェビナー) 及び会場 (ミューザ川崎) 市民研修室	川崎支部	川崎市民、 神奈川県民	無料
2	23	13:00	17:00	講演会& ハグミイサロン	知的障害者サッカーを通じて障害のある人の自己決定・自己選択について考える講演会です。講演会後は15時から施設見学、さらに社会福祉士の会員同士の気軽な懇親会を行います(任意参加)。非会員や、社会福祉士を目指す方も参加できます。	横浜ラポール	横浜支部	会員および 関心のある方	無料
2	25	14:00	16:00	実践発表大会	神奈川県社会福祉士会会員による実践発表、実践発表に基づく意見交換	Zoom上での オンライン開催 を予定	神奈川県 社会福祉士会	会員および 関心のある方	無料

開催を予定しております研修・公開講座等は、新型コロナウイルスの感染状況により、やむなく開催を中止、あるいは延期する場合がございます。ご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解頂きますようよろしくお願い申し上げます。なお、最新の状況につきましては本会のホームページをご確認ください。

<http://www.kacsw.or.jp/publics/index/234/>

神奈川県社会福祉士会 研修 講座

検索



● ● ● 事務局からのお知らせ ● ● ●

年会費についてご納入ありがとうございました。2023年度の年会費1万4千円については、2023年4月1日現在の会員の方について、4月12日付けで引き落としさせていただきます。

会費は年度ごとのご納入となっておりますので、退会や転出のご連絡については、必ず3月31日17時までに事務局へご連絡ください。会費引落口座の残高について予めご確認くださいませようようお願い申し上げます。

編集後記 箱根路に重ねて

箱根駅伝、今年もまたエースの誇りと仲間への思い、チームへの責任感を胸に学生たちが箱根路を駆け抜ける姿に勇気と感動を頂いた。時に、「駅伝」という競技はチームの中にある自分を極限にまで高め、そして追い込むものなのかもしれない…。

年の初めに多くの人が箱根路で繰り広げられる様々なドラマに時を忘れるのも、駆け抜ける選手に浮世の山坂が重なるからかもしれない…。順位やタイムもそうであるが、つなげなかった襷、失いかけた誇りと対峙しながらも、諦めずに立ち上がるその姿に人の力強さを感じた方も多かるう。

このレースを最後に無念の思いで箱根路を去る者、実業団で走り続ける者、競技から離れ一般企業へ歩みを進める者、次回に誓う者、指導者として箱根路を目指す者、様々な学生がおられよう…。どの学生達にも「幸多かれ」と願うばかりである。

新しい年がスタートして幾日が経つが周囲を見渡せば、様々な社会課題が山積している中での走り出しとなっている。皆様にとりまして、今年一年が箱根路を駆け抜けたランナーの輝く一滴の汗のごとく…、もとい、輝く笑顔のような素敵な時間となるようお祈りいたしております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(広報委員長:日向 明)